

乳腺外科のFEC療法を受けられる

様へ

説明医師

P 1 / 1

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月 日	月 日	月 日	月 日
経過	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	入院2日目
目標	治療に対する不安を表出できる	副作用が最小限で治療を終了することができる 感染予防の自己対策が理解でき実施できる 心身ともに安定した状態でFEC療法を受けることができる	
検査	身長、体重を測ります 外来で採血結果、体調確認を行ない、入院を決定します		
食事	制限はありません	(入院2日目～3日目) 朝食後、退院となります	
処置	体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測ります リストバンドを装着します (退院日まで装着します)	点滴前に留置針を挿入します	退院時にリストバンドを外します
注射・内服	持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡しください	以下の点滴を行います (約2時間半) 1) 制吐剤 2) エピルビシン 3) 生理食塩液 4) エンドキサン 5) フルオロウラシル 6) 生理食塩液 副作用を低減するための 内服薬を開始します	点滴を1本行います 退院後37.5℃以上の発熱があった場合には抗生剤の内服を開始します (毎食後1錠ずつ服用) 解熱しても3日分飲み切ってください 高熱が2日以上続く時は 外来受診してください
行動	制限ありません シャワーできます		化学療法室の説明があります (化学療法初回のみ)
説明	医師より説明 (外来または入院時) ・化学療法について 看護師より説明 ・入院生活について 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		(入院2日目～3日目) 医師より説明 ・退院後の治療計画、 療養上の留意点について 看護師より説明 ・日常生活の注意点について

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、

予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

35-Z51-2

2020.4.20 版

京都第一赤十字病院